



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大橋 太
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 横山 裕司（TEL）06-6369-0130
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	333,385	7.5	8,179	5.6	8,722	3.7	5,432	△1.9
2025年3月期中間期	310,032	4.5	7,743	△16.2	8,414	△16.8	5,539	50.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 6,353百万円（21.7%） 2025年3月期中間期 5,218百万円（△6.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	58.00	—
2025年3月期中間期	58.71	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	360,040	146,180	40.3
2025年3月期	381,702	150,280	39.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 145,032百万円 2025年3月期 149,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	3.2	26,000	4.9	26,500	1.8	15,500	2.5	166.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 3社(社名) (注) 、除外 9社(社名) (注)
(注) 詳細は、添付資料11ページ「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	94,350,134株	2025年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,215,400株	2025年3月期	7,319,266株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	93,648,562株	2025年3月期中間期	94,350,186株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の持続的な改善が見られる一方で、エネルギー価格の高止まりや円安の継続、物価上昇が引き続き家計や企業活動に大きく影響しており、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況となっております。

当社グループの属する医療業界では、第8次医療計画や第4期医療費適正化計画、医師の働き方改革等、2024年度から様々な施策がスタートしたことに加え、医療DX推進体制整備加算の見直し等により医療現場のデジタル化促進が求められる等、引き続き効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、連結全体としては概ね当初計画に沿った進捗となりました。また、当期は中期経営計画「SHIP VISION 2030」の初年度にあたり、「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」を基本方針として、3つの重点施策である「新規事業創出」「再編統合」「成長領域の拡大」を積極的に推進してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は333,385百万円(前中間連結会計期間比7.5%増)、営業利益は8,179百万円(前中間連結会計期間比5.6%増)、経常利益は8,722百万円(前中間連結会計期間比3.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5,432百万円(前中間連結会計期間比1.9%減)となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が直近5年間でも最も下期偏重の計画となっていることに加え、M&A手数料等の一過性の諸費用を計上したこと等から通期計画に対しての進捗は順調に推移しているものの、前年同期比では減益となりました。

この結果、売上高は51,156百万円(前中間連結会計期間比6.4%増)、セグメント利益(営業利益)は2,417百万円(前中間連結会計期間比3.2%減)となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に稼働を開始したSPD施設の業績が堅調に推移したことに加え、経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタートいたしました。

この結果、売上高は246,756百万円(前中間連結会計期間比8.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2,835百万円(前中間連結会計期間比11.8%増)となりました。

③ ライフケア事業

介護サービス事業におきましては、物価上昇やサービス品質を維持するための経費増加を背景に、事業運営コストが上昇いたしました。また、食事提供サービス事業におきましては、コメをはじめとする食品価格高騰の影響を受けました。

この結果、売上高は18,542百万円(前中間連結会計期間比1.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,017百万円(前中間連結会計期間比11.9%減)となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、再編統合による経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は16,929百万円(前中間連結会計期間比2.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1,976百万円(前中間連結会計期間比27.8%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末の資産は360,040百万円となり、前連結会計年度末と比べて21,662百万円減少いたしました。その主な要因は、「商品及び製品」が2,754百万円、「投資有価証券」が1,557百万円、「仕掛品」が1,200百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が22,302百万円、「現金及び預金」が4,690百万円減少したこと等によるものであります。

負債は213,860百万円となり、前連結会計年度末と比べて17,561百万円減少いたしました。その主な要因は、「支払手形及び買掛金」が12,547百万円、「未払法人税等」が3,033百万円、「電子記録債務」が1,849百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は146,180百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,100百万円減少いたしました。その主な要因は、「親会社株主に帰属する中間純利益」により「利益剰余金」が5,432百万円増加した一方、配当の支払いにより「利益剰余金」が5,472百万円減少し、自己株式の取得により「自己株式」が4,731百万円増加したこと等によるものであります。なお、当中間連結会計期間に自己株式15,477百万円の消却を行っております。

以上の結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は40.3%（前連結会計年度末比1.2ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは11,621百万円の収入（前中間連結会計期間比5,233百万円収入増）となりました。これは主に、「仕入債務の減少額」が14,691百万円、「法人税等の支払額」が5,775百万円、「棚卸資産の増加額」が2,046百万円あった一方、「売上債権の減少額」が22,494百万円あり、「税金等調整前中間純利益」を8,621百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは471百万円の支出（前中間連結会計期間比1,996百万円支出減）となりました。これは主に、「定期預金の払戻による収入」が1,231百万円、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入」が638百万円あった一方、「有形固定資産の取得による支出」が1,951百万円、「無形固定資産の取得による支出」が234百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは14,805百万円の支出（前中間連結会計期間比5,647百万円支出増）となりました。これは主に、「配当金の支払額」が5,472百万円、「自己株式の取得による支出」が4,731百万円、「長期借入金の返済による支出」が4,288百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間における「現金及び現金同等物」の残高は、前連結会計年度末に比べて3,655百万円減少し、71,206百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,502	72,811
受取手形、売掛金及び契約資産	135,517	113,214
電子記録債権	6,236	6,252
リース投資資産	2,508	2,514
商品及び製品	23,575	26,330
仕掛品	3,363	4,564
原材料及び貯蔵品	1,920	1,913
その他	8,863	10,271
貸倒引当金	△31	△25
流動資産合計	259,457	237,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,529	21,090
土地	18,162	18,143
賃貸不動産(純額)	8,080	7,987
その他(純額)	11,187	11,456
有形固定資産合計	58,960	58,678
無形固定資産		
のれん	7,414	7,400
その他	5,316	5,105
無形固定資産合計	12,731	12,505
投資その他の資産		
投資有価証券	29,381	30,939
長期貸付金	10,351	10,154
その他	14,055	13,163
貸倒引当金	△3,236	△3,247
投資その他の資産合計	50,553	51,011
固定資産合計	122,245	122,194
資産合計	381,702	360,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,667	109,119
電子記録債務	35,470	33,621
短期借入金	698	866
未払法人税等	5,932	2,899
賞与引当金	3,135	2,983
その他	21,109	21,913
流動負債合計	188,013	171,403
固定負債		
長期借入金	30,620	29,411
退職給付に係る負債	3,531	3,522
資産除去債務	1,190	1,187
その他	8,064	8,334
固定負債合計	43,408	42,456
負債合計	231,421	213,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,575	19,418
利益剰余金	120,407	108,795
自己株式	△15,527	△4,781
株主資本合計	144,008	138,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,182	6,214
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△215	△246
退職給付に係る調整累計額	99	75
その他の包括利益累計額合計	5,068	6,046
非支配株主持分	1,203	1,147
純資産合計	150,280	146,180
負債純資産合計	381,702	360,040

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	310,032	333,385
売上原価	282,025	304,066
売上総利益	28,007	29,318
販売費及び一般管理費	20,263	21,139
営業利益	7,743	8,179
営業外収益		
受取利息	155	155
受取配当金	137	144
持分法による投資利益	980	382
その他	193	268
営業外収益合計	1,467	951
営業外費用		
支払利息	250	229
為替差損	490	50
その他	55	128
営業外費用合計	796	407
経常利益	8,414	8,722
特別利益		
固定資産売却益	2	12
抱合せ株式消滅差益	-	3
その他	-	1
特別利益合計	2	17
特別損失		
固定資産除却損	3	118
事業構造改善費用	21	-
その他	2	0
特別損失合計	27	118
税金等調整前中間純利益	8,388	8,621
法人税、住民税及び事業税	2,632	2,796
法人税等調整額	437	432
法人税等合計	3,069	3,228
中間純利益	5,318	5,392
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△220	△39
親会社株主に帰属する中間純利益	5,539	5,432

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,318	5,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	317	1,008
為替換算調整勘定	△409	△38
退職給付に係る調整額	△5	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	3
その他の包括利益合計	△100	960
中間包括利益	5,218	6,353
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,617	6,409
非支配株主に係る中間包括利益	△398	△56

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,388	8,621
減価償却費	2,718	2,669
のれん償却額	910	933
持分法による投資損益(△は益)	△980	△382
賞与引当金の増減額(△は減少)	△234	△155
貸倒引当金の増減額(△は減少)	73	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59	△25
有形固定資産除却損	3	118
受取利息及び受取配当金	△292	△300
支払利息	250	229
売上債権の増減額(△は増加)	21,467	22,494
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,400	△2,046
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,203	△14,691
リース投資資産の増減額(△は増加)	80	△5
その他	65	△462
小計	8,905	17,002
利息及び配当金の受取額	360	625
利息の支払額	△253	△229
法人税等の支払額	△2,623	△5,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,388	11,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△814	△192
定期預金の払戻による収入	275	1,231
有形固定資産の取得による支出	△1,739	△1,951
有形固定資産の売却による収入	164	30
無形固定資産の取得による支出	△133	△234
短期貸付けによる支出	△92	△5
短期貸付金の回収による収入	120	100
長期貸付けによる支出	△1	△2
長期貸付金の回収による収入	167	140
投資有価証券の取得による支出	△293	△207
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	174
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	638
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△120	△222
その他	△2	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,468	△471

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	114	△506
長期借入れによる収入	261	581
長期借入金の返済による支出	△4,189	△4,288
自己株式の取得による支出	△0	△4,731
配当金の支払額	△4,717	△5,472
非支配株主への配当金の支払額	△46	△6
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△454	△250
リース債務の返済による支出	△125	△135
その他	-	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,157	△14,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,261	△3,655
現金及び現金同等物の期首残高	83,128	74,857
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4
現金及び現金同等物の中間期末残高	77,867	71,206

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月6日の取締役会決議に基づき、自己株式2,215,400株の取得を行っております。この結果、当中間連結累計期間において「自己株式」が4,731百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年6月6日の取締役会決議に基づき、自己株式7,319,266株の消却を行いました。この結果、当中間連結累計期間において「資本剰余金」及び「自己株式」がそれぞれ15,477百万円減少しております。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サブライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,083	227,091	18,268	16,589	310,032	—	310,032
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,033	905	24	58	2,021	△2,021	—
計	49,116	227,996	18,292	16,648	312,054	△2,021	310,032
セグメント利益	2,498	2,536	1,155	1,546	7,736	6	7,743

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去△62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等60百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,156	246,756	18,542	16,929	333,385	—	333,385
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	962	706	47	68	1,785	△1,785	—
計	52,119	247,463	18,590	16,997	335,170	△1,785	333,385
セグメント利益	2,417	2,835	1,017	1,976	8,247	△68	8,179

(注) 1. セグメント利益の調整額△68百万円には、セグメント間取引消去△57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△3百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより(株)テックインターナショナル及びデルフィア(株)を、新たに設立したことによりマスターズフォレスト(株)を連結の範囲に含めております。

また、キングラン(株)は、キングラン・メディケア(株)、キングラン九州(株)、キングラン北海道(株)及びキングラン関西(株)を、SHIPヘルスケアファーマシー(株)(SHIPヘルスケアファーマシー東日本(株)より商号変更)は、日星調剤(株)、グリーンファーマシー(株)、(有)スターシップ、(株)MONAKA及び(株)オーエムピー(前連結会計年度では非連結子会社)を、SHIPヘルスケアフード(株)はグラン・グルメ(株)をそれぞれ吸収合併しております。これらは、いずれも連結子会社間の組織再編であります。